

「出題の意図」

選抜区分	2025（令和7）年度（選抜区分：一般選抜 後期日程） 国際環境工学部 建築デザイン学科（科目名：面接）
出題の意図 （評価のポイント）	<面接の意図・ねらい> 個別面接・口頭試問を行った。 個別面接・口頭試問では、 ・自己PRおよびその内容 ・窓が小さな家に住むメリットとデメリット ・歴史的な建築が社会に与えた影響と魅力 ・海の上を移動できる建築の用途 について質問し、回答を求めた。 これらの質問を通じて、受験生の思考力および意欲などを確認した。 個別面接・口頭試問 自己PRに関しては、どの受験生も事前に記入した面接シートの内容を背景としつつも、自らの考えを整理し明快な回答をした受験生と、自身を自然体でアピールすることができなかった受験生に分かれた。 窓が小さな家に住むメリットとデメリットについての質問では、受験生のほぼ全員が回答できていたが、どれだけ多くの視点で考えられるかは受験生によって異なった。 歴史的な建築が社会に与えた影響と魅力についての質問では、各受験生の歴史的な建築に関する知識と理解の程度が回答に表れていた。回答に詰まる受験生は少なかったが、歴史的建築がもたらした影響や魅力について掘り下げて説明できた受験生も少なかった。 海の上を移動できる建築の用途についての質問では、地球温暖化による海面上昇や災害との関係から海上にある建築を考えるなど、受験生によっては独創的で現実的な回答が見られた。船との違いを踏まえた回答には説得力があった。 全体的には、面接の準備がよくされており、質問に対して的確に回答できている受験生が多かった。